

設立50周年を祝して

千葉県知事 熊谷 俊人



このたび、公益財団法人千葉県教育振興財団が設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴財団は、公共事業に伴う遺跡の発掘調査において、設立以来50年の長きにわたり、首都圏中央連絡自動車道路や成田空港の機能強化など県内の重要な社会基盤整備に関わる事業に携わり、高度な専門的知識と技術により、開発と文化財保護との調和を図り、千葉県の発展に寄与されてこられました。

また、社会教育施設の管理運営や千葉県スポーツ振興基金の運用を通じて、千葉県における教育、文化及びスポーツの振興に御尽力いただき、深く敬意と感謝の意を表します。

本県は、三方を海に囲まれ、海の幸、山の幸に恵まれ、古くから多くの人々が生活を営み、その痕跡が遺跡として数多く残されており、これらの遺跡は、地域社会の発展と県民の活力を高めていく貴重な財産として次世代に継承することが必要です。

先人の方々が築かれてきた社会基盤や文化を礎として、県民の皆様とともに新しい千葉の時代を切り開いていくため、貴財団の皆様には、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ますますの充実、発展を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

設立50周年を祝して

千葉県教育委員会教育長
富 塚 昌 子



公益財団法人千葉県教育振興財団が設立50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴財団は、昭和49年に財団法人千葉県文化財センターとして設立されてから今日に至るまで、館山自動車道、東京外かく環状道路、つくばエクスプレス沿線土地地区画整理といった県内の主要インフラ整備や街づくりに関わる事業に伴う発掘調査に携わり、現状保存できない埋蔵文化財の保護や調査研究に尽力されてきました。これらの発掘調査で得られた学術的成果が墨古沢遺跡、すみふるさわ下総国分寺跡附北下瓦窯跡しもふさこくぶんじあとつげたりきたしたかわらがまあとといった国による史跡指定とながり、また、数多く出土した遺物の一部が県指定有形文化財（考古資料）となるなど、本県の文化財保護行政に多大な御貢献をいただいていることに、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

文化財は、地域のアイデンティティを形成する重要な要素であると言われており、地域の文化財に親しむことにより、郷土への愛着と誇りの醸成が図られるものと期待されています。

こうしたことから、県教育委員会では、県内市町村が文化財の継承や保存・活用のための地域計画を作成する際の共通の基盤となる「千葉県文化財保存活用大綱」を策定し、本県における文化財の保存と活用の基本的な方向性等を示しているところです。

貴財団の皆様におかれましては、本県における文化財保護行政の推進にさらなる御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後ますますの御発展を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

設立50周年を迎えて

公益財団法人千葉県教育振興財団
理事長 植野 英夫



公益財団法人千葉県教育振興財団は令和6年11月1日に設立50周年を迎えました。昭和49年に財団法人千葉県文化財センターの名称で設立され、県民生活の向上と地域文化の充実に寄与することを目的に、千葉県内の遺跡等埋蔵文化財の調査研究、及び県民の文化財保護思想の涵養と普及等を図るとともに、開発と環境整備の調和を図ってまいりました。

この間、社会情勢や文化財をめぐる状況の変化により厳しい局面もありましたが、着実に事業を進める事ができましたのも、関係各位の御理解と御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

首都圏にある千葉県では、成田空港をはじめ、高速道路、土地区画整理等の開発事業が進められてきました。当財団はこれまでに、これら事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業を、約1,300か所、面積にして約2千ヘクタールにおいて実施し、発掘調査報告書798冊を刊行することにより、県民へ学術資料として還元してまいりました。

また、平成17年度には、千葉県社会教育施設管理財団と千葉県スポーツ振興財団の一部事業を継承し、千葉県教育振興財団と名称を変更し、翌18年度からは県立博物館、県立社会教育施設の管理・運営に携わるとともに、県内のスポーツ団体等への助成を通じ、スポーツ振興・支援を担ってきました。

現在わが国では、文化資源を活かし、文化観光で地域活性化を推進するなど、文化財や社会教育施設に新たな役割が求められております。役職員一同、設立の趣旨を忘れずに、また、社会の新たな要請にも応えられるよう、より研鑽を重ねてまいりたいと考えております。

設立50周年を迎えるにあたり、御協力を賜りました関係各位に、今後とも一層の御支援・御指導をお願い申し上げます。

おかげさまで設立50周年を迎えました。

I 千葉県教育振興財団について

1 設立の経緯と目的

当財団は、急増した国・県の大規模開発事業に伴う発掘調査に対応するために、千葉県の出資により、千葉県内における遺跡等埋蔵文化財の調査研究及び県民の文化財保護思想の涵養と普及等を図るとともに、開発と環境整備の調和を図り、県民生活の向上と地域文化の充実に寄与することを目的として、昭和49年11月1日に、財団法人千葉県文化財センターとして設立されました。平成17年に財団法人千葉県教育振興財団に名称変更し、平成18年には、財団法人千葉県社会教育振興財団及び財団法人千葉県スポーツ振興財団の一部事業を引き継ぎ、文化財事業のほかに社会教育事業及びスポーツ関連事業を開始しました。平成24年には公益財団法人に移行し、現在は千葉県における教育・文化及びスポーツの振興を図ることにより、県民の生涯を通じた学習活動等への参加を促進して、健やかで心ゆたかな県民生活の実現に寄与することを目的としています。

2 沿革

財団法人 千葉県文化財センター (財)千葉県教育振興財団	昭和49年11月1日	千葉県教育委員会より財団法人千葉県文化財センターとして設立許可（千葉県教育委員会指令第467号） 主たる事務所を千葉市中央4丁目13番28号に置き業務を開始 庶務課、調査部、研究部を設置
	昭和49年12月16日	発掘調査事業の第1号として東寺山・戸張作遺跡（千葉市）の調査を開始
	昭和49年12月19日	主たる事務所を千葉市亥鼻1丁目3番13号に移す
	昭和54年4月1日	管理課を設置
	昭和60年4月1日	主たる事務所を千葉市葛城2丁目10番1号に移す
	昭和63年1月1日	四街道市鹿渡無番地（現809番地の2）に分室を設置
	平成2年6月19日	主たる事務所を四街道市鹿渡無番地（現809番地の2）に移す
	平成5年4月1日	総務部－総務課・管理課、調査研究部－事業課・資料課・調査事務所（千葉・印西・成田・市原）を設置
	平成8年4月1日	調査研究部を廃止し、調査部－調査課・企画課、資料部－資料課・整理課を設置
	平成10年4月1日	西部調査事務所を設置
	平成15年4月1日	調査部企画課を廃止し、整理課を資料部から調査部に移動、資料部に普及課を設置、調査事務所の名称を（中央・北部・東部・南部）に変更
	平成17年9月1日	名称を財団法人千葉県教育振興財団に変更
	平成18年4月1日	財団法人千葉県社会教育施設管理財団及び財団法人千葉県スポーツ振興財団の一部事業を引き継ぎ、社会教育事業及びスポーツ関連事業を開始する 総務部、調査部、資料部を廃止し、教育・スポーツ部に企画課・事業課、文化財センターに管理普及部－管理課・普及課・資料課、調査研究部－調整課・

整理課を設置

千葉県立房総のむら指定管理者として指定される

第1期 平成18年度～平成20年度

第2期 平成21年度～平成25年度

第3期 平成26年度～平成30年度

第4期 平成31年度～令和5年度

第5期 令和6年度～令和10年度

文化財センター東部調査事務所を廃止

平成20年4月1日

千葉県立鴨川青年の家（現 鴨川青少年自然の家）指定管理者として指定される

第1期 平成20年度～平成22年度

第2期 平成23年度～平成27年度

第3期 平成28年度～令和2年度

第4期 令和3年度～令和7年度

文化財センター調整課を廃止

平成21年4月1日

文化財センター南部調査事務所を廃止し、大多喜作業所を設置

出納室を設置

平成22年4月1日

文化財センター普及課及び資料課を廃止し、普及資料課を設置

文化財センター大網作業所を設置

文化財センター印西作業所を廃止

平成24年4月1日

公益財団法人千葉県教育振興財団へ移行する

文化財センター調査研究部に調査1課、調査2課を設置

文化財センター中央調査事務所、北部調査事務所、西部調査事務所を廃止し、

市原作業所、千代田作業所、柏作業所を設置

平成25年2月1日

労働者派遣事業を開始する

平成25年4月1日

教育・スポーツ部を廃止し、総務企画部－総務課・事業課を設置

文化財センター管理普及部を廃止し、管理部を設置

文化財センター普及資料課を廃止

文化財センター調査1課、調査2課を廃止し、調査課を設置

平成26年4月1日

総務企画部事業課を廃止し、事業企画課を設置

文化財センター大多喜作業所を廃止

平成27年4月1日

文化財センター管理部、調査研究部を廃止し、管理課、整理課、調査課を配置

文化財センター大網作業所を廃止

平成27年12月7日

文化財センター横芝作業所を設置

平成28年9月30日

文化財センター千代田作業所を廃止

平成30年4月1日

出納室を廃止

文化財センター調査課を廃止し、調査第一課、調査第二課を配置

平成31年4月1日

文化財センター整理課を廃止

令和3年10月1日

文化財センター空港作業所を設置

Ⅱ 文化財事業（主な事業の抜粋写真）

当財団は、千葉県内における遺跡等埋蔵文化財の調査や文化財思想の滋養・普及を図り、県民の生活向上と地域文化の充実に寄与することを目的に活動しています。

1 発掘調査事業 実績例



上赤塚1号墳埋葬施設（千葉東南部地区）



君津市鹿島台遺跡調査風景（東関東自動車道(千葉・富津線)）



君津市鹿島台遺跡調査風景（東関東自動車道(千葉・富津線)）



市川市雷下遺跡丸木舟出土状況（東京外かく環状道路）

2 普及事業 実績例



出土遺物公開事業 展示



広報誌『房総の文化財』

Ⅲ 社会教育等支援事業（指定管理施設の抜粋写真）

当財団では、社会教育等支援事業として、千葉県内2施設の管理運営を、千葉県から指定管理者の指定を受けて行っています。

1 千葉県立房総のむら



商家の町並み



房総のむら
マスコットキャラクター
「ぼうじろー」®

2 千葉県立鴨川青少年自然の家



鴨川青少年自然の家



カッター研修

Ⅳ スポーツ振興事業（記念品付き募金用クオカードの抜粋写真）

千葉県スポーツ振興基金

県及び市町村の出捐金に民間の協力を得て基金を造成し、その運用益による安定した継続的な財源のもと、スポーツ団体や市町村等が行うスポーツ振興事業やレクリエーション活動等について資金的な援助を行っています。



2023募金用記念品（クオカード）



2024募金用記念品（クオカード）